



# 狭山ヶ丘通信

本校の実情をお知らせし、教育問題、社会問題等に関する本校校長小川義男の見解などをお読みいただくため「狭山ヶ丘通信」を発行いたしております。また、本校ウェブサイトにてバックナンバーもご覧いただけます。https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/ 〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢981 TEL:04-2962-3844 FAX:04-2962-0656 狭山ヶ丘学園 広報部

## 新しい年を 迎えるに当たって



狭山ヶ丘高等学校  
狭山ヶ丘高等学校附属中学校  
校長 小川義男

冬至が近付いてきた。新しい年は目の前だ。

付属中学校、高校、それぞれに、多忙な日々を過ごしている事と、特に高校三年生は、決戦を前にして、格別の感懐であろう。

付属中学生は、内進する人が多と思うが、外部に羽ばたく人もあろう。どの道に進むにしても、青春は希望に溢れている。それぞれの健闘を祈る。大学入試に勝って欲しいが、敗れた場合も、諸君の人生は可能性と栄光に満ちている。

この暮れを、それぞれの感慨にふけて送り、新年に備えて欲しい。暮れは、自らの一年を振り返る絶好の機会でもある。

私は、今は免許がないので、車も飛ばせないが除夜の鐘を聞いた後は、人気のない都心に車を走らせ、「無人の東京」を、じっくり味わうのを常とした。諸君は若いし、人

柄にも深みがあるから、家族とともに、年末年始を味わったり、友との友情を深めたりするのも年の瀬を生きる若者の特権ではないか。将来、私を乗せて新年、夜明けの東京を走ってくれたら嬉しいな。

ウクライナでの戦争は、ロシアの侵略に端を発したものだといえ、元々ウクライナは、ソビエト社会主義共和国連邦の一員だったのだ。プーチン氏も、これを取り戻したいなどと思わず元ソ連の一員として、ウクライナとの親交を保って共存することもできたのに、と思う。

ロシアは、国土も広いし、この戦争を通じて、ロシアが資源大国であることもよく分かった。またロシアには、ゴルバチョフ氏以来のデモクラシーの伝統が定着している。戦争ではなく、武器によってでもなく、世界の国々が、平和に過ごせるよう、若き諸君の知恵、賢さを、国と世界のために役立てて欲しい。

若き諸君の力は大きく、責任も重い。志を持って、世界平和に役立つ大人物に育って欲しい。

ロシアは資源大国だが、日本にも大変な資源がある。そのひとつは石炭だ。若い頃、私は北海道赤平市に住んでいた。炭坑の小学校の教師だったのである。

住友赤平小学校に、親友が勤め

ていた。住宅も石炭も無料、暮らしやすいところであった。親友の若月君の住宅の前には石炭が露出していた。黒く光る、最高の石炭らしい。実は、石炭にはランクがあり良い石炭は値段も高い。彼は、会社から頂く石炭ではなく、それを掘ってきてストーブで燃やした。燃えた後に灰が残らなかったと言うから、最高品質の石炭である。北海道には、露出するほど良い石炭が存在するのである。「私も行くぞ」と言っていたのだが、その前に会社の人に来てバリケードを張ってしまった。

石油が安かったので、国は石炭をやめ石油に切り替えた。我が国のほとんどすべての炭鉱は「閉山」された。現在唯一営業されている炭鉱は、釧路にある一カ所のみで、三十万いた全国の炭坑夫は職を失った。

実は、石炭は埋蔵されたままであり、その量は、今後五百年掘り続けてもなくなるにそうだ。これほどの資源が我が国にあることを諸君は知るまい。森林資源も凄

い。

また、周辺海底には、その深底部だが、ジャガイモくらい大きさの「マンガン団塊」が大量に存在している。中には、鉄、銅、ニッケル、マンガンの高価な金属が含まれ

ている。深海ゆえすぐには採掘できないが、その量は無尽蔵とも言われている。

我が国は、世界有数の島嶼大国であり、島の数は七千に達する。領海並びに排他的経済水域の大きさは、巨大である。調べてみるとよい。

但し、これは守らねば侵される。私は中共、中華人民共和国が一番危ないと思う。

侵略を防ぐには、少なくとも我が国には空母二隻が必要である。国家と国民を守るため、防衛大学校、防衛医科大学校に是非、進学してほしい。ウクライナ戦争の終結を望むが、日本を、第二のウクライナにははならない。

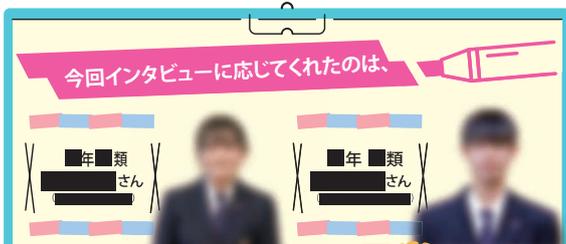
日本にとって、最大の問題は人口減少である。結婚の重要性を見落としてはならない。亡くなった安倍氏は、労働人口減少を「外国人材の導入」などという美辞麗句で乗り切ろうとした。私が安倍氏に決定的不信を抱いたのは、あの時である。

今日、離婚を奨励しているのではあるまいが、どうも、安易に離婚が容認され、そのことが国家そのものを揺るがせているように思われてならない。

大きな志をもって、国家国民を守ることのできる偉大な若者に育ってくださることを切望する。

# 現役生に聞く!受験生へのアドバイス

## 入・試・座・談・会



いよいよ、入学試験まで残りわずか!今回は、附属中学校出身の先輩と高校から入学した先輩から、本校受験の**コツ**を聞きました。

**Q1** まず、本校を志望した理由を教えてください。

**さん** 学校見学に来てみて、充実した設備に惹かれました。また、姉がとても楽しそうに通っていたので興味が湧きました。

**さん** 学校見学に来てみて、校舎が綺麗で設備も充実していたからです。

**Q2** 入試本番まで、最も努力したことは何ですか。

**さん** 理科が特に苦手だったので、苦手を乗り越えるために猛勉強しました。国語では文章を読むときに線や印を付けるといったことを意識しながら、沢山の問題を解きました。また、市販されている本校の入試の過去問題集を、繰り返し解いて練習しました。

**さん** 自分は国語が苦手だったので問題集を使って練習したり、日々の読書時間を増やしたりしました。

**Q3** 入試の前日はどのように過ごしましたか。

**さん** 基礎知識の最後の確認や過去問の振り返りをして過ごしました。そして、体調を崩さないために早く寝ることを意識していました。

**さん** 入試を深く意識せず、気持ちを落ち着かせていました。そして、夜早く寝て朝早く起きる事を意識しました。

**Q4** 入試の当日はやはり緊張はしましたか。

**さん** とても緊張していました。しかし、自分が今まで頑張ってきた成果を発揮することができる機会だと思い、自分を信じて最後まで頑張りました。私の場合、程よい緊張感が好結果に繋がったと思います。

**さん** 自分には緊張していない方が合っていると分かっていたので、いつも通りやろうと意識していましたが、最初の方は緊張していました。

**Q5** 勉強は大事ですが、時には息抜きも必要です。2人の勉強の合間のリラックス方法を教えてください。

**さん** 時間を決めて、目を瞑りながら自分の好きな音楽を聞くことです。頭を休めることができるのでとても効果的です。外に愛犬の散歩に出かけることもあります。

**さん** 少し体を動かしたり、時間を決めてゲームなどをしていました。

**Q6** 実際に入学して、今の高校生はどのように過ごしていますか。

**さん** 高校生は自学自習が基本です。先生方は手厚く指導して下さいますが、勉強は自ら進んで行うものです。特に英語では、語彙を増やすために英単語帳を開くことを毎日の習慣にしています。また、教科数が多く、日々の予習や復習、定期考査へ向けた試験勉強が大変です。しかし、それらを積み重ねることによって、自分の夢に近づくことができると考えているので、苦しくはありません。また、本校は体育祭や文化祭などの学校行事が盛んです。良い友人に囲まれて、充実した学校生活を送ることができています。

**さん** 授業中は、テストの前で簡単に復習して思い出せるようにその場で覚えよう意識して取り組んでいます。また、授業で理解しきれなかったものはその日に復習するようにしています。学校の行事も休み時間もクラスの友人と充実した生活を送れています。

**Q7** 自身の今後の目標を教えてください。

**さん** 今の目標は第一志望に合格することです。私には、公認会計士という夢があり、それを実現するために、商学について学びたいと考えています。

**さん** 今の目標は第一志望の大学に合格できるように勉強に励んでいくことです。

**Q8** 最後に、受験生へ一言、エールをお願いします。

**さん** 努力は必ず報われます。最後まで諦めずに、自分を信じて頑張ってください!

**さん** 志望校合格のための方法は、今から一歩ずつ着実に勉強に立ち向かうことです。無味乾燥な勉強でも重ねていけば、きっと合格出来ると思います。明日よりも今日を大事にこれから頑張ってください。

### まとめ

二人とも、ありがとうございました。入試の前日の過ごし方や苦手の克服の方法には、共通点もあって、とても興味深いですね。受験生のみならずみなさんもこのアドバイスを参考にして、本番に向かって、ラストパートです! 素敵な先輩たちとともに、狭山ヶ丘で待っています。

## 2023年度入試日程のご案内

附属中学校一般入試	第1回 1月10日(火)	第2回 1月12日(木)	第3回 1月14日(土)	第4回 2月6日(月)
高等学校推薦入試	専願①・併願① 1月22日(日)	専願②・併願② 1月23日(月)	専願③・併願③ 1月24日(火)	
高等学校一般入試	専願・併願 2月4日(土)	出願・試験などの詳細に関しては、各入学試験要項をご確認ください。		

## PTA父母教室のお知らせ



講師 **柴山昌彦 先生(衆議院議員)**

### これまでの経歴

平成2年: 東京大学法学部卒  
平成10年: 司法試験合格  
平成12年: 司法修習終了・弁護士登録(東京 弁護士会)  
平成16年: 衆議院議員補欠選挙にて初当選 以後、所沢を基盤として活動  
衆議院 / 内閣常任委員長や法務委員会理事などを歴任  
自民党 / 総裁特別補佐・幹事長代理などを歴任 現在は埼玉県支部連合会会長を務める  
内閣 / 外務大臣政務官・総務副大臣・第19代文部科学大臣などを歴任

### 講演テーマ

「輝く明日を創る『人財』」

### 日時

2023(令和5)年2月25日(土) 午後2時

### 場所

本校講堂(1号館4階)

Web版は個人情報保護の観点から生徒氏名・顔写真は掲載しておりません。

# 大宮アルディージャ 本校サッカー部OB 若林学歩選手

## U-19 日本代表に選出!



昨年度本校IV類を卒業し、プロサッカークラブ「大宮アルディージャ」に加入した若林学歩選手が、この度U-19日本代表選手に選出されました。

若林選手は、本校サッカー部から初めての高卒Jリーガーとなり、ルーキーイヤーとなった今季、大宮アルディージャGKとしては史上最年少でリーグに出場するなど、大いなる活躍をみせています。

11月13日～23日にスペインのサン・ペドロ・デル・ピナタルにて行われる遠征に日本代表選手として参加します。若林選手の今後、熱い応援のほどよろしくお願いいたします。

©1998 N.O.ARDJUA



### 若林学歩選手 コメント

今回U-19日本代表に選ばれてとても嬉しく思いますし、嬉しいという感情と共に大きな責任を感じています。海外ですごく良い相手と対戦できますので、自分の強みを生かしつつ色々なことにチャレンジし、何事も吸収していきたいです。そして、狭山ヶ丘高校のサッカー部の卒業生でもありますので、少しでも自分のプレーや行動を見て、狭山ヶ丘高校の関係者の皆さまが応援していただけたら嬉しいです。

©1998 N.O.ARDJUA

# 現役生もがんばっています! 男子サッカー部 初の選手権埼玉大会ベスト8

本校サッカー部は、10月22日(土)に行われた第101回全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県予選会決勝トーナメントの3回戦にて、浦和南高校に2対1で接戦を制し、選手権埼玉大会では初の準々決勝進出およびベスト8を決めました。



10月30日(日)に浦和駒場スタジアムで行われた準々決勝にて初のベスト4入りを目指しましたが、東京成徳大学深谷高校に0対1で惜しくも勝利を逃しました。来年は、ベスト4、さらにその先へと進めるよう邁進して参ります。引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

# 女子バレー部 年

## いちご一会とちぎ国体 埼玉県代表選手に抜擢!

10月7日～10日に栃木県宇都宮市で開催された「いちご一会とちぎ国体」に、本校女子バレーボール部3年の菊地風香さんが、埼玉県の少年女子選抜選手に抜擢され、出場しました。

国体は国民体育大会の略称で、都道府県対抗で行われる、国内最大規模を誇るスポーツの祭典です。一回戦の対青森戦、二回戦の対長野戦を勝ち上がり、準々決勝の対岡山戦、5・7位決定戦の対千葉戦に敗れはしたものの、埼玉県チームは7位入賞を果たすことができました。



## 春高バレー2023埼玉予選 第3位!

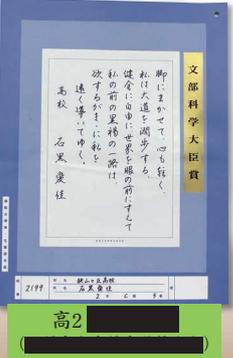
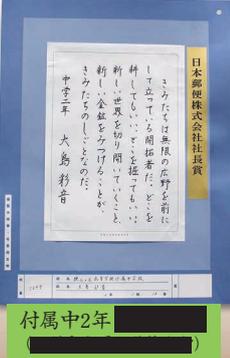
(第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会埼玉県予選会)  
11月13日(日)に行われた準決勝で、埼玉県第3位の成績を収めました。今後も更なる躍進を目指して参ります。ご声援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

# 書道部

## 第65回 全国硬筆作品展覧会にて 上位入賞の快挙!

日本書写教育研究会主催「第65回全国硬筆作品展覧会」で、本校書道部は約16,000作品の出品の中で、高校生の部において2年[ ]さんが「文部科学大臣賞」、中学生の部において2年[ ]さんが「日本郵便株式会社社長賞」を受賞しました。それぞれ全国一位、二位に相当する栄誉ある賞です。

2人は、10月1日に大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)にて行われた授賞式に参加しました。



# 第33回 伊藤園お〜いお茶新俳句大賞にて 本校生徒多数入賞! & 優秀学校賞受賞!



本校では例年、国語の授業(古典分野)の一環として「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」に中学全学年及び高校1、2学年の生徒が作品を応募しています。昨年度応募した作品のうち、各都道府県より5名のみが選ばれる「都道府県賞」高校1名、「佳作特別賞」高校5名、付属中1名、「佳作」高校4名、付属中2名と多数の受賞を果たし、本校も「優秀学校賞」を受賞いたしました。



# 狭山ヶ丘学園ウェブサイト



https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/

# 2023年度入学生向け「学校紹介動画」を公開しました!

本校ウェブサイトでは、日々の生徒の様子や活躍をご覧いただける「SAOKA Journal」のほかにも、学校説明会などで放映している「学校紹介動画」をSAOKA MOVIEでご覧いただけます。SAOKA MOVIEでは、文字や写真だけでは伝えきれない学校の魅力を発信できるコンテンツを今後、追加していく予定です。ぜひ、本校ウェブサイトをご覧ください!



# SAOKA MOVIE



## 高等学校 修学旅行

# 沖縄

**1 団**  
11月15日  
~  
11月20日

**2 団**  
11月16日  
~  
11月21日

**3 団**  
11月17日  
~  
11月22日

今年度、高等学校では八重山列島・沖縄本島への修学旅行を実施しました。新型コロナウイルスの影響で昨年度はスキー旅行が実施できなかったため、2年生にとっては初の宿泊行事となりました。沖縄の歴史や自然を存分に体感し、実りある旅となりました。

羽田空港 → 石垣空港に到着! → 川平湾グラスボートの様子

**1日目 石垣島**  
川平湾を見学

**2日目 八重山列島の離島研修①**

- 西表島トレッキング
- 竹富島にて水牛車体験・ラー油づくり
- 黒島レンタサイクル
- サバニ体験
- ビーチクリーンなど

**3日目 八重山列島の離島研修②**

- 浦内川トレッキング & 星砂の浜
- 由布島 & 仲間川クルーズ
- 小浜シュノーケル
- 黒島ウミ亀放流体験など

**4日目 首里城公園**

**5日目 国際通り 班別自主行動**

**6日目 平和祈念公園 ひめゆり資料館**

天然記念物ヤエヤマヤシ 自生しているのは、石垣島と西表島のみ!

西表島カヌー

黒島レンタサイクル

羽田空港

私たちの班は、2日目の離島研修で竹富島へ行きました。途中のフェリーの2階席から平らに広がる壮大な竹富島の自然が見えました。上陸し散策していると、島ならではのプーゲンビリアやハイビスカスなどが自生していて、竹富島の自然をより身近に感じることができました。水牛車体験では人間の歳で50歳をも超える水牛が、器用な足取りで島を案内してくれました。ガイドの方が伝統楽器の三線に合わせて沖縄民謡の生歌を披露してください、いい思い出になりました。石垣島に戻ってからラー油作りでは自分好みのスパイスを沢山入れてオリジナルのラー油を作りました。自宅に帰ってから開封し、食べるのが楽しみになりました。紹介したいことがまだまだあるこの充実した日々を糧に、今後の学業の活力にしていきたいです。

## 付属中学校 修学旅行 愛知 岐阜 三重

岐阜県  
愛知県  
三重県

付属中学校では、10月26日(水)から29日(土)にかけて、3泊4日で東海三県への修学旅行を実施しました。その土地にある伝統や文化を、歴史や地理、産業、食を通して学び、体感することができました。

3年 [ ]

今回の修学旅行は、中学最後の宿泊行事でしたが、非常に楽しむことができ、思い出に残りました。トヨタ産業技術記念館は、以前にも家族と訪れたことのある場所でしたが、また新たな視点で、機械や自動車のことなどについて学ぶことができました。パイオリンを演奏するロボットが印象的でした。関ヶ原古戦場記念館では、迫力ある映像や音声、椅子の振動と共に、戦いの壮絶さを間近に感じることができ、非常に印象に残りました。伊勢神宮は、想像していたよりも大勢の人であふれ、そして境内の広さに驚きました。おはらい町では、見きれないほどの数々の伊勢の名産品があり、家族に伊勢うどんや伊勢茶を買うことができました。たくさんの思い出とお土産を手に入れた、楽しい修学旅行でした。

東京駅 → 1日目 愛知

- 犬山城
- 明治村

2日目 愛知・岐阜

- トヨタ産業技術記念館
- 関ヶ原古戦場記念館

3日目 三重

- 伊勢神宮(外宮・内宮)
- おはらい町・おかげ横丁
- 鳥羽市立海の博物館

4日目 三重

- 横山展望台
- 伊勢シーパラダイス

東京駅